

新潟職能短大通信

科学データを用いたバーチャル
プラネタリウムの制作

科学データの中には、比較的容易に入手できるものがあります。天体情報もその一つで、天文衛星や天文台など、世界中の観測施設で得られる貴重なデータです。これらは天体カタログ(星表)として集約され、インターネットから簡単に取得できます。天体カタログには最低限、天体の座標(赤経・赤緯など)が記録されています。

一九八九年、欧州宇宙機関が地球から見た恒星の位置、距離などの高精度測定を目的としてヒッパルコス天文衛星を打ち上げました。そのデータはヒッパルコス星表と呼ばれ、十万以上の恒星データが収録されてい

ます。今回、このヒッパルコス星表のデータを使ってバーチャルプラネタリウムを制作しました。日時と場所、方角を入力すれば星々が表示されます。図は、二〇〇九年十二月一日二十三時の新発田市

の星空を計算した結果を表示しています。地平線から少し上にオリオン座が見えます。点線は国際天文学連合による星座の区画線です。星の大きさには、明るさのデータを反映させました。加速度センサーを用いたコントローラにより、星空の角度と高さを自由に変更できます。

ヒッパルコス星表を活用すれば宇宙空間内の恒星の遠近分布や、未来や過去の星空の表示も可能です。難解に感じる科学データも、そのデータ構造さえ解れば、興味深い情報を引き出せる「宝箱」です。今後も学生のデータ処理技術向上の素材として、多様な科学データを活用したいと思います。

新潟職業能力開発
短期大学校 情報技術科

山田正史

大倉喜八郎の会・新会長に

藤田加津栄氏就任



藤田新会長

大倉喜八郎の会は、去る十月六日開催の理事会において、当会の設立に深くかかわり、以来当会の運営を常に中心的な立場で、また昨年度からは会長として、同会に尽力頂きました中谷昭弘会長の後任に藤田加津栄氏(前新発田商工会議所会頭)を全会一致で承認しました。

藤田新会長は、就任に当たり「素晴らしい実績を残されました歴代会長の後をお引き受けし、このたび会長に就任いたしました。会員の皆様のご協力を頂きながら、会長の任務を務めさせていただきます。

また、当会の事業につきましては、より広く市民の皆様さんに大倉喜八郎の業績を知っていただくための広報活動を積極的に展開するとともに、会員の皆さんが楽しく参加できる事業を加えることなど、当会の活動がより多くの市民の皆さん

に認知していただけるように、入会してよかったと思われるような会になるように努力してまいります。

なお、同会は同日の役員会において、一部会則の改正と組織体制の見直しを行い、広い層からの役員の登用、そして会員の増強などにより事業を円滑に行うための財政基盤を強化することとし、次の通り新役員を選任しました。

新顧問(五十音順)

岩村良一(新潟県議会議員)、佐藤哲也(新発田商工会議所会頭)、中谷昭弘(前会長)、二階堂馨(新発田市議会議長)、

新理事(五十音順)

島津延明、関川正利、諸橋真渡、渡辺明紀、渡辺優

会計監査

伊藤晋栄(遠藤利信の辞任)



新発田駅前病院の

「大倉喜八郎氏銅像」